

美瑛富士・携帯トイレブース等点検パトロール実施報告書

(2016.6.14 改定)

実施年月日	2016年9月4日	団体名／所属先	道央地区勤労者山岳連盟
参加人数	7人	報告者	伊吹 省道

NO	点検項目	結果と措置内容
1	携帯トイレブース本体 (テントの破損は無い、固定ロープの緩みはないか等)	テントは破損、倒壊。 テントの布地はビリビリに破れ、ポールは連結部ではなく、本体が折れていた。
2	携帯トイレブース内 (汚れていないか、便座の破損はないか等)	便座は飛ばされていたが、破損部なし。 清掃して、再度、組み立てた。再利用に問題なし。
	ブース利用カウンター値	158 (地面に転がっていた)
3	小屋周辺のティッシュ散乱状況 (ティッシュ散乱数、または回収数の確認、その他のゴミ散乱状況確認、回収)	ティッシュペーパー6ヶ所回収。 汚物2ヶ所回収。電池、ガラス破片、ビニールテープを回収。
4	小屋内外 (損傷した箇所はないか等)	異常なし。
5	小屋内 (清掃はされているか、放置したゴミはないか、小さなゴミは回収したか等)	紙などのゴミを回収。室内はきれいだった。 泥などの汚れなし (床など)。
6	回収ボックス (白金観光センター隣のトイレ裏) *鍵番号は530 (ゴミゼロ)	カウンター数値: 1158 携帯トイレの数: 0 (回収したと思われる)
7	アンケート調査	調査数: 9

感想・特記事項
第一印象はテントの面影はなく、竜巻の被害にあった感じ。ポール、テント、アンカーなどを別々にビニール袋に入れ、木材、便座などと一緒に小屋の棚の下に置く。固定ロープは再設置を考えて、残置してきた。カウンターは便座の網の上に置いた。再利用可能な部材は便座と空き・使用の札、カウンター(?)のみ。なお、近辺に飛んでいる部材はないか探したが、確認したものはすべて回収した。また、登山道のゴミも回収した。

参加者名 (※はリーダー)
※伊吹、鎌田、山下、山下 (理): 小樽労山。 永井、干場: 札幌山びこ山友会、横関: 札幌ピオレ山の会。合計7名

●実施後、速やかにメール(hokkaido@yamatoilet.jp)かFAX(011-706-2452)に報告のこと